

思いやり ゆずる心で ハイウェイ富山



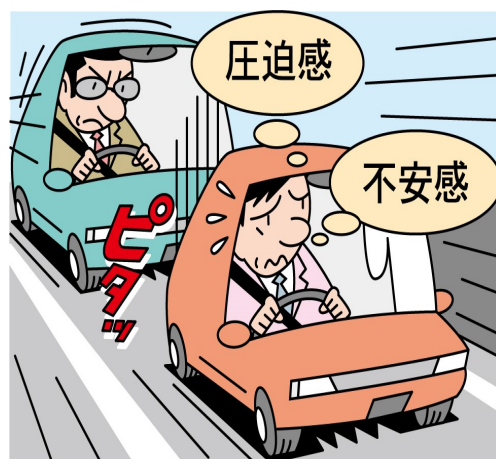
十分な車間距離をとろう

渋滞や道路工事により、予想外のところで先行車が減速することがあります。万が一、前の車が急に減速・停止しても追突を避けられるよう、十分な車間距離をとって走行しましょう。

あおり運転はやめよう！！

他の車の進行を妨害する危険な運転、いわゆる「あおり運転」が社会問題となっています。

運転者は相手に対する「思いやり・ゆずり合い」の気持ちを持って運転し、危険運転者に追われるなどした場合、サービスエリアやコンビニ等交通事故にあわない場所に避難し、110番通報してください。



一般社団法人富山県トラック協会青年部会

飲酒運転根絶に向けたトラック運送業界の 取り組みの強化について

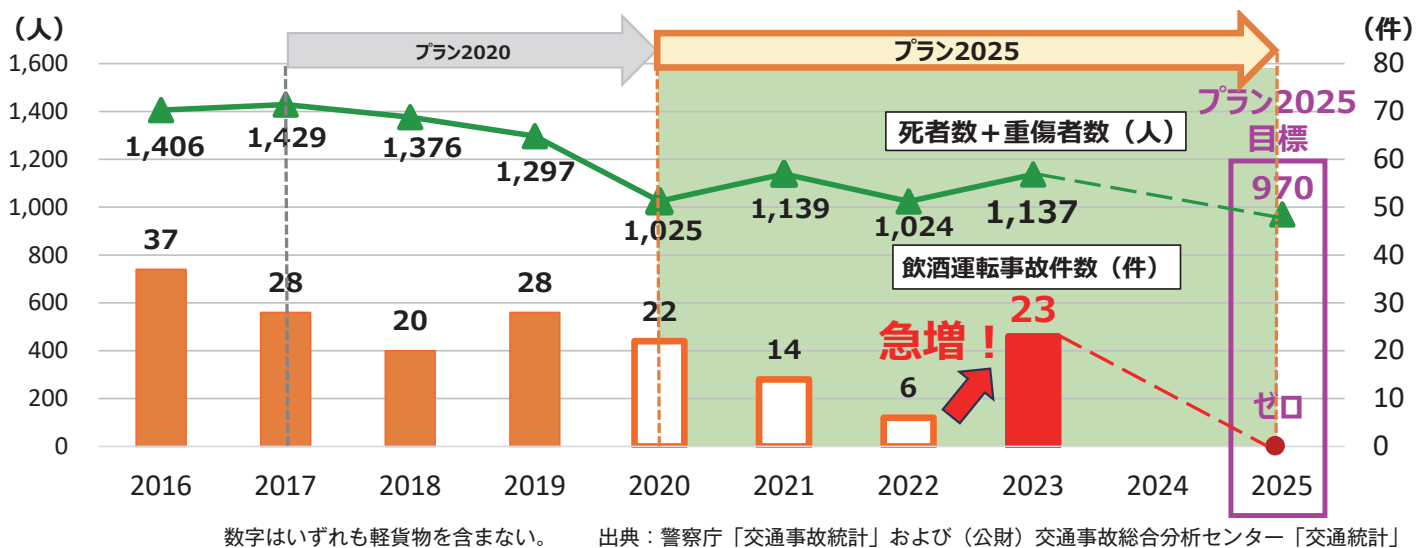
飲酒運転の根絶に関しては、「トラック事業における総合安全プラン2025」において、「飲酒運転ゼロ」を目標に掲げ、令和3年9月の全ト協「交通対策委員会」での決議を踏まえ、各都道府県トラック協会とも連携しつつ、各種取り組みを積極的に展開しているところ、令和5年中の事業用トラック（軽貨物を除く）の飲酒による人身事故件数は23件（警察庁）と急増しています（グラフ参照）。

また、国土交通省が毎週発信するメールマガジン「事業用自動車安全通信」の情報等によれば、令和5年中の物損事故を含む飲酒事案については35件が把握されています（中面を参照）。

このような飲酒運転という反社会的行為の根絶を図るためには、トラック運送業界全体として決議内容を共有し、運送業界から「飲酒運転を根絶」するため、関係者一丸となって取り組みを推進して参ります。

◆ 全日本トラック協会

「トラック事業における総合安全プラン2025」における目標値と実績



決議

- 各事業所においては、乗務前後の対面点呼時はもとより、対面でなく電話その他の方法で行う点呼の場合においても、アルコール検知器を用いた酒気帯びの有無の確認が確実にできる点呼実施体制が確立できているか再確認し、必要に応じた見直しを行う。
- 各事業所においては、交通安全運動等の機会をとらえ、事業用トラックが関係した飲酒運転事故事例を周知するなどして、運転者に対する飲酒運転根絶意識の徹底を図る。
- 各都道府県トラック協会においては、飲酒運転根絶にむけた他県の取り組み事例について情報の共有化を図り、各地域の実情に応じ、飲酒運転根絶にむけた効果的な取り組みを積極的に展開する。
具体的には、
 - ・会員事業所所属の全てのドライバーからの飲酒運転しないことの宣誓書の署名活動
 - ・フェリー乗り場、SA・PA、TSなどでのトラックドライバーに対する飲酒の有無の自主点検や、街頭啓発活動

令和3年9月6日

公益社団法人全日本トラック協会
交通対策委員会